

# 寅さん歩 その14

## 東京に こんなところ-22



平野 武宏

首都東京は「徳川幕府の江戸から明治維新へ、そして関東大震災・太平洋戦争の被災で壊滅から復興、1964年（昭和39年）の東京オリンピックによる街並み・交通網の再整備」と時代と共にその姿を変えています。そして2020年（令和2年）の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、更に近代的な姿に生まれ変わろうとしています。2012年（平成24年）に移住して「寅さん歩」で東京を歩き回っている寅次郎は「東京に こんなところもあるのだ！」と思わせる場所に出会い、感動し、シリーズとして取り上げ、紹介しています。

東京都は区部（東京23区）、多摩地域（市部、西多摩郡）、島嶼部（とうしょぶ）（伊豆諸島・小笠原諸島）の三地域で成り立っています。東京都なのに訪問していない伊豆諸島の三宅島を訪問する機会があり、2019年（令和元年）6月に上陸しました。

別の姿の東京都を知った寅次郎でした。

### [三宅島の位置]

東京の南方海上約180キロにあり、竹芝桟橋から大型客船で約6.5時間、調布飛行場からは約50分です。寅次郎は大型客船「橘丸」（写真下）で予定の錆ヶ浜港を変更して三池港に上陸しました。悪天候のため、接岸出来ない場合があるという条件付き出航でした。橘丸の写真は昨年撮影です。





写真上は当初入港予定の阿古地区の錆ヶ浜港岸壁の風景です。  
三池港上陸後、民宿のある阿古地区へバスで移動時の撮影です。

## 【地球の息吹を感じる火山島】

観光協会の資料によると年間平均気温は 17.7℃、30℃を超える真夏日は年間約 12 日、最低気温が 0℃以下になる日はほとんどない、1 年を通して温暖な気候が多く住みやすい島とのこと。  
富士火山帯に含まれる活火山で、2000 年（平成 12 年）の雄山山頂噴火での火山ガスによる全島避難が記憶に新しいです。それ以前では 1983 年（昭和 58 年）阿古地区の噴火、1962 年（昭和 37 年）坪田地区の噴火と、約 20 年周期で噴火を繰り返しています。  
2000 年の噴火では雄山山頂にあった八丁平と呼ばれていた旧火口が陥没して、新しく深さ約 450m の見事なカルデラが作り出されたとのこと。島内いたる所で観ることが出来る雄大な火山島景観は、まるで天然の火山博物館のようです。雄山山頂は立ち入り禁止区域、その下は危険区域となっています。2013 年（平成 25 年）7 月より一般エリアにおけるガスマスク携帯義務が解除されています。写真下は 1983 年割れ目噴火で飛来落下した石塊を道端に保存しています。山の手前や道の左側は海です。溶岩流は海まで流れました。



## 〔新瀨池跡（しんみょういけあと）〕

阿古漁港から一周道路を東に向かって歩くと 1763 年(宝暦 13 年)の噴火で形成された火山湖 新瀨池（写真下左）が 1983 年(昭和 58 年)噴火後の水蒸気爆発で一瞬にして消滅したという神秘の池跡がありました。写真下右は現在の姿です。



## 〔新鼻新山（にっぱなしんざん）〕

新鼻新山は新瀨池跡の前の一周道路を渡り、海に向かうとあります。1983 年(昭和 58 年)の噴火による海底爆発により一夜で出来ました。近づくると真下は海でした。（写真下右）



## 〔阿古溶岩原（あこようがんはら）〕

阿古漁港から海岸線を北へ歩くと 1983 年噴火の溶岩流で埋没した阿古集落に到着です。溶岩は山から海まで流れました。（写真下左右、写真下右は波で造られたメガネ岩）





溶岩は阿古集落や学校（写真下右）をのみ込みました。写真下左は火山溶岩内に作られた「体験遊歩道」です。近くの「郷土資料館」では江戸時代の「絵島生島事件」（歌舞伎役者の生島信五郎と大奥女中の絵島の密会疑惑）で生島が過ごした流刑地の三宅島や2000年噴火での4年半に亘る全島避難の状況を紹介しています。ちなみに生島の相手の絵島は長野県伊那市高遠に流されています。



## 【大路池（たいろいけ）】

約2500年前の噴火口にできた伊豆諸島最大の淡水池です。池畔を一周できる歩道があります。池の場所はアカコッコ館の下です。



## 【バード アイランド】

新鼻新山からさらに東に一周道路を進むと国・天然記念物のアカコッコが観察できるアカコッコ館到着です。三宅島は野鳥の生息密度がとても高く、人と野鳥の距離が近いことで知られるバード アイランドです。これまでに観察された野鳥は約260種とのことです。アカコッコは伊豆諸島とトカラ列島（鹿児島県）でのみ繁殖する日本固有のツグミの仲間です。三宅島は本種の代表的生息地とのこと。日の出や日没時刻前後の薄暗い時間帯に活動とのことで残念ながらお会いできませんでした。でも歩いていると鶯の鳴き声を頻りに聞きました。



## 【ふるさとの湯】

ウォーキングの後は温泉施設「ふるさとの湯」で汗を流しました。

ナトリウム-塩化物温泉で見た目は僅かに黄色、味は塩味、僅かに鉄味でした。 写真右は露天風呂から眺めた錆ヶ浜港岸壁です。前日とは比較にならない穏やかな海です。



## [島での食事]

写真下左は民宿「みなと」の夕食です。魚はご主人が釣ったもの（メジナの煮つけ、刺身は写真からはみだしていますがカツオとアカイカ、サバ唐揚げ）、野菜は奥さんが畑で栽培したもの（アシタバの天麩羅とゴーヤのニンニク和え、新ジャガ）とすべてご当地の食材です。大変美味しくいただきました。

写真下右はウォーキングでの昼食のお弁当です。から揚げ、サバ、たけのこ、ご飯の脇にはアシタバの和え物です。魚が多い中での唐揚げはとても目新しく感じました。



## [こぼれ話]

アシタバが美味しいと褒めたら、民宿の奥さんが、とれたてを分けてくださいました。家に帰り教わった通りに「90秒湯通し、きざみ、ツナマヨネーズ和え」と妻に伝え、出来上がりが写真右です。妻は苦味を取るために玉ねぎを混ぜたとのこと。三宅島の味を東京で美味しくいただきました。



帰りの海上も荒れているとのことで八丈島から到着の「橘丸」は伊ヶ谷港に接岸、竹芝栈橋に向け出航しました。三宅島には三つの港がありますので欠航になることが少ないようです。

寅次郎、これで大島、八丈島、三宅島に上陸しました。  
大島は寅さん歩 その11 江戸・東京の祭-45(花の祭-9)、八丈島は寅さん歩 その14 東京にこんなところ-21 を参照ください。

映画の寅さんは1974年(昭和49年)8月公開の第13作「男はつらいよ 寅次郎恋やつれ」で大島に、1985年(昭和60年)12月公開の第36作「男はつらいよ 柴又より愛をこめて」で式根島に上陸しています。

次回は 官公庁の食堂めぐり-18 渋谷区役所 です。

平野 寅次郎 拝